

(行政視察・**政務活動**・議員研修) 報告書

平成 30 年 4 月 13 日

白石市議会議長 志村 新一郎 殿

議員氏名 小川 正人

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成 30 年 3 月 29 日 (木) ～ 3 月 30 日 (金)
調査・研修先	衆議員第二議員会館 (第 8 会議室)、駐日ベラルーシ大使館
調査事項 (研修事項)	下記
対応者・講師等	下記
概 要	国土交通省 13:30～14:30 60分
① 背景・目的	① 白石市越河地内の国道 4 号線拡張工事進捗について
② 内容・特色	② 白石市内の高速道路スマートインター新設についての動向
③ 主な質疑	③ 白石市内の国道 4 号 4 車線化の見通しについて
④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	対応者 国土交通道路局 国道、防災課 国道事業調整官 小林 賢太郎 氏 計画調整係長 清橋 秀聡 氏  高速道路課 企画専門官 河村 英知 氏 有料道路利用促進係長 金清 翔平 氏  ① の件 越河 2.2 km 80%用地買収完了 福島県国見町 1.3 kmを含めて、30 年後も予算化を行う 用地買収残 20%もすみやかに行うとの事であった。



## ② の件

国は平地部で IC 間隔を、欧米並みの約 5 km を念頭に整備を行っているとの事

※平成 29 年 12 月末時点

開通 98 箇所

事業中 69 箇所

準備段階調査 15 箇所

平成 28 年 30 箇所開通

平成 29 年 27 箇所開通予定

## ③ の件

- ・大河原町金ヶ瀬と蔵王町間の工事は、平成 30 年度開通予定との事
- ・白石より越河までの複車線化（4 号線）は、越河の工事完了後に検討を行うとの事

※白石市越河、大河原町金ヶ瀬間が高速道路通行止め時、速度低下区間として主要渋滞区間に選定されている。

農林水産省 14:40~15:40 60分

① 稲作の減反廃止について

② 米政策全般について

対応者

農林水産省 政策統括官付

農産企画課 石井 一成 氏

穀物課 稲垣 晴香 氏

	<p>①②の件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度から行政による生産数目標の配分がなくなり、農業者（産地）は主体的に需要に応じた生産、販売を行う必要があるとの事</li> <li>・国は引き続き、きめ細かな情報提供や水田フル活用に向けた支援を講じていくとの事</li> </ul> <p>※経済判断のための国からの情報提供や支援措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細かい情報提供</li> <li>・水田フル活用に向けた支援</li> <li>・生産コスト低減</li> <li>・米の需要拡大</li> </ul> <p>宮城米は業務用が好評であるという事 JAが中心となって販路拡大に成功している県があるとの事 今後、国は輸出を100万tを目指すとの事であった</p> <p>※白石のような、小さな農家では大変だと感じた。今後は行政として、国のデータ利用および補助金をうまく利用すべきと感じた。</p> <p>まち、ひと、しごと創生本部      15：50～16：50      60分</p> <p>対応者</p> <p>内閣官房      まち、ひと、しごと創生本部事務局 参事官補佐      大日 篤志 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の地方創生政策について まち、ひと、しごと創生総合戦略（2017年改訂版）について （ライフステージに応じた地方創生の充実、強化） 内容と予算の説明を受ける。</li> </ul> <p>※1、ライフステージに応じた地方創生の充実、強化 2、「地方消滅の危機」の共有 3、ライフステージに応じた政策メニューの充実、強化</p>
--	--

<p>4、キラリと光る地方大学づくり</p> <p>5、若者を中心とした地方における「しごと」づくり</p> <p>6、地方における企業拠点の強化を促進する 税制措置の拡充</p> <p>7、地方における空き店舗等の遊休資産の活用</p> <p>8、民間主体のまちづくり活動促進（BID 制度等）</p> <p>9、国民向けの地方生活の魅力の発信 体験、見る、知る、触れ合う、子供の農山漁村体験の充実</p> <p>10、地方への大きな人の流れをつくる抜本的な対策</p>
<p>※平成 30 年度予算</p> <p>1、地方創生推進交付金……1,000 億円 交付金 1/2    1/2 地方負担（地方財政措置を講じる）</p> <p>2、地方大学、地域産業創生事業……100 億円</p> <p>3、地方創生に取り組む地方への情報、人材、財政面での支援 ……3.6 億円</p> <p>4、地方創生に係る調査、推進事業等……13.3 億円</p>
<p>3月30日（金）</p> <p>駐日ベラルーシ共和国大使館表敬訪問 11：00～12：00 60分</p> <p>対応者 駐日ベラルーシ特命全権大使      ルスラン・イエシン大使</p> <p>大使より、訪問してくれた事に対し、嬉しい歓迎の言葉をいただき、 昨年 白石市を訪問した際は大変歓迎していただき嬉しかったとの感謝 の言葉をいただきました。</p> <p>白石からは、昨年すばらしい新体操の演技を見せていただき、市民が 喜んでいただいていた旨のお礼を述べ、今年、来年とオリンピックに向けて、白石市 で合宿する事に対し、お礼とオリンピックでチーム選手が素晴らしい成績 （金メダル）を取る事を祈念している旨を伝えた。</p> <p>大使は6月に山田市長がベラルーシを訪問する事を喜んでおり、是非、 議員、市民の人達も一緒に訪問することを願うと言われた。</p>

大使は、ベラルーシではオリンピック後も新体操はもちろんの事、市民間の経済交流を望むと言われた。

今年中に保健大臣が来日するので、ぜひ白石の病院、保健行政を視察したいと述べられた。

子供達の為にも、素晴らしい交流が続く事を願い、議会としても前向きに検討すべきと思う。

※今回は国道4号線、スマートインターチェンジ、農業政策（稲作）、地方創生の研修を受けたが、研修と同時に事業と予算の陳情を行うことができた。良い結果が得られると思う。

国交省の担当者には白石市の実状を理解していただきたいと感じた。

※ベラルーシ共和国と今後とも交流を続けていきたい。

ベラルーシの皆様が来日していただいた際は全市民で歓迎したい。